



雪は積もる

先週の金曜日から土曜日にかけての大雪で徳島県を中心に大きな被害があり、未だに完全復旧していない地域もあるとのこと、今週末も雪が予想されていて心配です。

さて、私は中学校に長く勤めていたもので、この時期は3年生の担当であった時のことをよく思い出します。3年生が取り組む学力テストは1年間で10回を越えます。そのたびに採点し、成績を処理して、こどもたちが希望する進路の可否について可能性を査定して懇談を行います。2学期末の懇談では希望に対する可能性をお話して、冬休みを含む残りの日々に、何を目標にどのように取り組んでいくかを伝え励まします。その後は、担当する生徒の内申点を決定し、集約したら受験に関わる様々な書類を作成し、年が明ければ入試が始まるというような慌ただしくも緊張感のある年末年始を送っていました。今も、中学校の先生方はこどもたちの希望を叶えたいと思い、願い、毎日を過ごしておられることと思います。

中には頑張っているにもかかわらず成績が伸びないこどもたちもいて、悩むこともあります。

ある年末の懇談の時、会場だった校舎の3階から雪の降りしきる校庭を懇談の空き時間に眺めていたことがあります。雪が絶え間なく降り続けているのですが、校庭にできた水たまりに雪は積もりません。しばらく眺めていても、やはり雪は積もりません。ところが懇談のため1時間ほど経ってから校庭を見ると、水たまりは見えなくなっています。ハッとしました。

雪は水に溶けるけれども降り続ければ、やがて水たまりも覆い尽くして積もっていくのです。水たまりにも雪は積もるのです。

水たまりを自分の苦手なこと、できないことにたとえることはできないでしょうか。苦手なことでもあきらめず、努力し続ける事ができれば、やがて水たまりに雪が積もるようにできるようになっていく。大切なのは溶けてしまうからといってあきらめないことなのではないでしょうか。

こどもたちの教育に携わる私達教職員も保護者の皆さんも、こどもたちの心に雪を降らせ続けなければなりません。難しい事であればあるほど根気よく降らせ続けなければいけないのです。必ず雪は積もると信じています。

【おめでとうございます！】

第60回青少年読書感想文全国コンクール鳥取県審査

優良賞 羽合小学校1年 近藤 寧々

優良賞 羽合小学校5年 川本 稜

優良賞 羽合小学校5年 近藤 寛太

読書感想文のコンクールで表彰をいただきました。おめでとうございます。

羽合小学校 寺谷英則